



令和3年3月号

タイトル題字 1年 織本 芳維

## 1. 2年生特設進路LHR !! 2月4日(月)

NPO法人キャリア・ファシリテーター協会の貫名 茜(ぬきな あかね)氏を講師に招き、金銭基礎教育プログラム「マネーコネクションR」と題し、講義をしていただきました。内容は、一人暮らしをするのにどのくらいお金が必要かを考え、働き方と収入から生活スタイルをシミュレーションしました。また、長期的な視点で、10年後、20年後の暮らしをシミュレーションし、稼ぎ方、働き方を慎重に選択することの大切さを学びました。

## 名残惜しい卒業式 !! 3月1日(月)

新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休校が決まり、翌日に急遽、挙行了った昨年の卒業式からあっという間に、1年の月日が過ぎました。今年も、在校生・職員・保護者・来賓の方々からの祝福を受けて、3年生3名が分校を巣立ちました。

温かい拍手に迎えられて入場した卒業生に、森勝博校長が卒業証書を一人ずつ授与しました。森校長は式辞の中で、『これから生きていく社会は、情報化・グローバル化・テクノロジーの革新が進み、「Society(ソサエティ)5.0」の時代がやってくる。社会に出て行く君たちには、様々な試練が待ち受けてい

るかもしれませんが、自分自身の課題にしっかり向き合い、精一杯努力すること、その積み重ねが、将来につながる』と、卒業生にメールを送りました。在校生代表・北村千彩さん

は送辞で、「様々な場面で、常に私たち後輩の前を歩き、私たちが3年生になった時の道を示してくださいました」と、先輩への感謝の思いを伝えました。それに応える岡本悠佑君の答辞は、時折、涙を浮かべながら、同級生3人で過ごした、分校ならではの学校行事の思い出とともに、苦しい就職活動を、「自分自身と真剣に向きあい、時には挫けそうになりましたが、3人で励まし合いながら乗り切ることが出来た」と、絆の深さを述べていました。そして、後輩たちへは、「すべては自分からはじまる」と言う言葉を披露し、自分から積極的に動くことの大切さを伝え、先生や家族への感謝で結びました。最後に、松本功容君から卒業記念品を後輩たちに贈呈し、担任の上野山先生の先導で、3名は堂々と退場していきました。卒業式の後に行われた

「卒業生を送る会」は、すべて在校生が企画・準備・運営をしました。卒業生一人ひとり、分校での思い出を話し、その中で親への感謝の言葉が大変感動的でした。お世話になった小・中学校の先生からの手紙やビデオレターを見て、在校生全員でメッセージを書いた色紙と背中に背負うお菓子リュックをプレゼントしました。



### ☆ 4月の行事予定

4/ 5(月) 離任式	4/ 8(木) 着任式、始業式、入学式	4/ 9(金) 一斉テスト、身体測定
4/12(月) 心電図検査(1年)	4/15(木) 歯科検診	4/22(木) X線撮影